

居合道 だより

第145号

特集

六・七段合格者の声





暑中お見舞い申し上げます。

先般の西日本豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ちょうど一年前は九州北部豪雨だった。いずれも数十年に一度という豪雨災害だ。

梅雨明けからは、命の危険を伴う猛烈な暑さが続いているが、明らかに地球はおかしくなっている。

そんな中でも雑草はたくましく伸びているし、稲もすくすくと成長している。拙道場の神棚に供えている榊は昨年の大晦日に上げたものだが、なんと丸七ヶ月も生きている。植物たちの生命力には感動させられずにいられない。

西日本豪雨の最中、和歌山市で居合道七・六段審査会が開催された。前日からすべての交通機関に影響が出た中で、審査会にかかる関係者の熱意でなんとか始められた。

例年以上に高い合格率だったが、合否を分けたのは、極論すればいかに足腰の

力を使っているかどうかだったと感じた。

全剣連居合だから決められた正しい形が基本だ。正しく、大きく、強く、その中でいかに武道として合理的な動きになっているか。居合の形に留まらず居合の技になっているか。

正しく大きく強くが備わってから技へと進むには無理、無駄の無い動きが必須であり、それが美しさにつながっていくのである。

大工さんの鉋かけの姿や釘打ちの手の内、長年農業を営んできた人の鍬を振る姿や鎌で草を刈る手の内等は実に見事で惚れ惚れするように美しいものだ。

稽古事や人生においては自信が無い事柄ほど肩に力が入ってしまうものだ。居合で肩の力を抜くためには足腰に力を入れる、上手く呼吸をする等が求められるが、それらはすべて稽古でしか得られないものである。

肩に力が入ってしまえば、どんなに正しく大きく強くやっても、すべてが文字通りに「形無し」になってしまう。

そして形から技へと進化させる課程で一番肝心なことは、いかに敵と対峙しているかという心の持ち様である。

「画竜点睛」

生死の狭間に身を置いた「抜き付けの一刀」こそがすべてであろう。



主な活動

7月	6日	金	居合道6・7段審査会	全剣連	和歌山県
	7～8日	土～日	居合道地区講習会	全剣連	和歌山県

8月・9月の活動予定

8月	5日	日	居合道講習会	居合道部	福岡市中央体育館
9月	8～9日	土・日	第46回居合道中央講習会	全剣連	京都市武道センター
	9日	日	福岡県居合道段位審査会	福剣連	福岡武道館
	23日	日	福岡県居合道伝達講習会	福剣連	福岡武道館

居合道初心者体験教室

9月開講!! 参加者受付中



七段昇段にあたって

田川居合道同好会 中島 浩



本年7月6日、西日本豪雨のさなか和歌山市での段位審査会において七段位へ昇段させていただきました。これも偏に、今までにご指導いただきました諸先生方のおかげと衷心より感謝しております。誠にありがとうございました。

思い起こせば居合道入門の動機は不純極まりなし「故 居合道教士七段 川原弘文（義父）とのコミュニケーションをいかに行うには」を苦慮している所へ居合道同好会会員募集の案内が目にとまり即入門あれから早25年の歳月が流れていました。

義父からよく言われた言葉は「おまえは不器用だから他の人より何倍も稽古をなさい」こ

の教えを守って来たとは思いますが?????

審査前には、何も出来ていない自分に焦りもあり、いつも以上の稽古を行い。結果、正座が出来なくなり目の前が真っ暗。そんな折り「今、無理をすれば居合が出来なくなるから焦る気持ちを抑えなさい」「これも稽古と思いなさい」等と声を掛けて頂きました。

今の私が有るのも、不出来な私にことあるごとに温かいご指導をして頂いた諸先生方のおかげであると感謝しております。今後も更なる高見を目指したいと考えておりますので引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

居合道六段昇段に際して



糸島錬心館道場 竹内 久朋

平成30年7月6日に和歌山県で開催されました居合道六段審査会におきまして合格させていただくことができました。

ご指導いただきました先生方、会員の皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。

審査当日の朝は、前日からの大雨により市内の道路が冠水し、大渋滞となっており、審査の受付時間に間に合うだろうか...

という不安や焦りを感じていました。

受付を済ませてもその感情を引きずったままでしたが、審査の開始時間が1時間遅らせることになり、その間にウォーミングアップのやり直しや気持ちを落ち着かせることができ、いつも指導を受けている「我が前の敵に集中する」ための準備をすることが出来たように思います。

不安や焦り、プレッシャーなどの感情に惑わされないことの大切さを図らずも実感することとなりました。

今後も稽古を重ねて参りますので、引き続きご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

六段昇段にあたって所感

福岡武道館 荒木 正亨

平成30年7月6日和歌山県にて行われました居合道審査会にて、六段へ昇段させて頂き大変身の引き締まる思いであります。これも偏に、未熟な私を福岡県の諸先生方をはじめ、目標としております諸先輩方、日ごろより切磋琢磨させていただいております多くの剣友の皆様のご指導ご鞭撻のおかげであると感謝している次第でございます。

また、定例の稽古にてご指導頂いております波止先生や三角先生等、私が右も左もわからない時からご指導頂いた多くの先生にひとつ恩返しが出来たと胸をなでおろしております。

今回、初の中央審査を迎えるにあたりまして、まずは選手として出場させていただき

六段昇段にあたって所感

ました全日本大会に向けた稽古会でご指導頂いた箇所をひとつひとつ出来るよう意識するところからはじめ、今まで仕事の都合上夜の稽古量が確保できなかった問題を家族の協力もあり早朝より自宅近くの稽古場にて1時間と時間を決め集中して行うことで解決し、ほぼ毎日必死に稽古を続けてまいりました。

審査当日は、非常に天候も悪く交通機関の乱れなど多くのトラブルが発生するなど、近年類を見ない審査会でありましたが、無事に会場入りをする事ができ、稽古場に入ってからには兎に角、切っ先をしっかりと意識して一つ一つご指導頂いたものを繰り返し気持ちと身体の準備を済ませました。審査に入り私の順番が来たとき全日本大会とはまた違った緊張感がありましたが、今の自分をしっかり見ていただこうと思いおもいっきり業を遣うことができ全て出し切ることが出来ました。

六段に合格した新しい修行の出発点に立つことが出来ましたが、まだまだ業も心も未熟な私でございますが、今まで以上に日々地道に研鑽を重ね段位に恥じる事の無い様精進してまいりますので、諸先生や剣友の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます所感にかえさせていただきます



六段昇段にあたって

武揚館道場 高嶋 由紀



この度、和歌山県居合道審査会で六段に昇段させて頂き、身の引き締まる思いです。これもひとえに福岡の諸先生方はじめ、諸先輩方、同門の方々のご指導ご厚情のおかげと感謝しています。

2006年に結婚して末次正尚先生の武揚館道場に入門し、現在は輝副館長、小田師範の下、居合道を稽古しております。中央審査に向けて、全て基本から見直し、自分に何が足りないのか、自分の悪癖を知る事から始めました。客観的に自分を見ると、六段に合格するレベルでは無いと落ち込むこともシバシバでした。しかし「やれる事は全てやる、結果は後から付いて来る」を自分に言い聞かせながら、必死に稽古を続けてきました。

審査会当日は悪天候で市内一部冠水などトラブルもありましたが、先生方からのご助言、準備をしていたので予定通り会場に着くことが出来ました。審査会場に入ってからは無我夢中でよく覚えていません。いよいよ自分の番だと控席から立った時、「稽古した以上のことは出来ない！集中！」と開き直って審査に臨んだ事は覚えています。このように、まだまだ未熟な私ですが六段位に恥じぬようより一層地道に精進して行きたいと思います。今後も変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第145号 平成30年8月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847